

特集

デンカのヘルスケア事業 ～未来に向けた新たな挑戦～

デンカのヘルスケア事業は、予防、診断、治療の各領域で展開しています。旧デンカ生研との事業統合で2020年より新体制でスタートしたライフイノベーション部門は、「人々の命を尊び、健康を守る」という理念を掲げ、未来に向けた新たな事業拡大を目指して挑戦を続けています。

Current Technology 現在展開している事業



インフルエンザワクチンの安定供給

「インフルエンザ HAワクチン」

- 1972年からインフルエンザHAワクチンを製造販売し、ワクチン安定供給の一翼を担っています。
- 予防接種に対する社会的ニーズに応え、供給能力を増強するため、新たに約160億円を投資して新原液製造設備を建設し、2020年11月に竣工しました。設備検証等を経て、2022年のシーズンからの稼働を予定しています。



予防



パンデミックへの迅速な対応

抗原迅速診断キット「クイックナビ™-COVID19 Ag」

- 旧デンカ生研は1950年の創業以来、多様な感染症検査薬を開発し供給しています。検査試薬の開発期間は、通常では早くても2～3年程度必要ですが、今回は特例申請の対象となり、国立感染症研究所やAMED(日本医療研究開発機構)等よりご協力いただいたことから、約半年で製品化を実現し、2020年8月より供給を開始することができました。
- 「クイックナビ™-COVID19 Ag」は抗原迅速診断キットとして、簡便性・迅速性においてPCR検査にはないメリットがあります。検査機器を用いることなく、診断の現場で15分程度の短時間で目視判定が可能です。デンカは、様々な感染症の迅速診断キット(クイックナビ™シリーズ)を自社技術で開発供給しており、感染症に向き合う医療現場の負担軽減に貢献しています。



診断



高齢化社会における、QOL(生活の質)の維持・向上への貢献

高分子ヒアルロン酸製剤・関節機能改善剤

- 独自開発した発酵法による高分子ヒアルロン酸ナトリウムを原薬とする、関節機能改善剤「スベニール®」*を製造しています。
- 高齢化社会が進み、変形性膝関節症など膝に痛みを抱える人が増加するなかで、QOLを維持・改善し、イキイキとした生活をするお手伝いをしています。

※デンカが製造し、中外製薬(株)が製造・販売元である関節機能改善剤です。



治療

特集

デンカは、「命の尊さ」を原点とする姿勢を貫きながら、独創的な製品の開発・製造を続けていきます。

理念

人々の命を尊び、健康を守る



新興・再興感染症から世界の人々を守る
医療現場のニーズに応える製品供給を通じて
世界の人々のQOLを向上する

Future Technology 将来への取り組み



次世代のワクチン・検査薬のための技術プラットフォーム

「magniCON®」を用いたノロウイルスワクチンの開発

- 植物体によるタンパク質発現技術「magniCON®」*を活用し、ノロウイルスワクチンや検査試薬の開発を進めています。
- タバコ植物を利用した本技術は、低コスト、高い安全性ならびに柔軟な生産が可能といった特長を持っています。
- グループ企業のドイツIcon Genetics社は、欧州においてノロウイルスワクチンの治験を進めるとともに、将来展開を見据えた新施設建設用地を取得しました。

※「magniCON®」はIconGenetics社の登録商標です。



予防

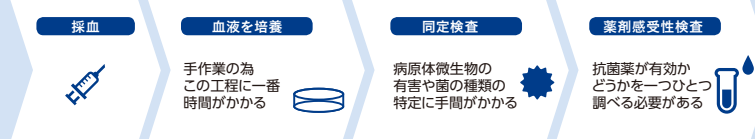


敗血症に立ち向かう新検査技術

同時多項目測定を可能とする、新たな遺伝子検出技術

- 敗血症は体内で細菌などの病原体が増殖することにより重篤な臓器障害を起こしている状態を指します。既存法では原因菌の検出に患者血液の培養を必要とし、特定までに2日以上かかります。一刻も早く原因を特定することは死亡リスクを低減し、抗菌薬の適切な選択による薬剤耐性菌の発生対策にもつながります。
- IntelliPlex™*は高感度の同時多項目測定を実現する技術で、戦略的パートナーである台湾PlexBio社が開発したものです。当社は同技術を活用し、敗血症の検査時間を1日以内に短縮することを目指して試薬と装置の開発を進めています。

敗血症検査の工程



※「IntelliPlex™」はPlexBio社の登録商標です。

診断



がんに立ち向かう新たな治療法

がん治療ウイルス G47Δの 製造技術開発

- G47Δは、東京大学医科学研究所の藤堂教授が開発した単純ヘルペスウイルス1型 (HSV-1) の遺伝子を改変し、がん細胞のみで増殖するように設計された、がん治療ウイルスです。抗がん剤や放射線療法とは異なる、新しいがん治療法として注目を浴びています。
- G47Δはウイルスそのものを製剤化するため、製造には特別な技術が必要となります。デンカはワクチン・ウイルス検査試薬における技術と経験を有することから、藤堂教授の要請を受けて製造技術の開発を進めてまいりました。2021年6月に製造販売元となる第一三共株式会社から、悪性神経膠腫の治療を目的とした再生医療等製品として、がん治療用ウイルス G47Δ製剤「デリタクト®」*について、国内で条件及び期限付き承認に該当する製造販売承認を取得しました。今後は、第一三共株式会社からの委託を受けて、デンカが製造を担います。

※「デリタクト®」は第一三共株式会社の登録商標です。

治療